地域福祉計画及び地域福祉計画評価・策定委員会について

＜地域福祉計画＞

地域福祉計画は、地域住民等の参加を得て、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容や量、体制などについて、関係機関や専門職も含めて協議のうえ、目標を設定し、計画的に整備していくことを内容とした計画。

平成３０年４月の社会福祉法の改正において、**「地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉の各分野における共通的な事項」を記載する福祉の総合計画**として位置づけられ、計画の策定が市町村の努力義務となった。また、「包括的な支援体制の整備に係る事業に関する事項」が計画に盛り込むべき事項として追加されている。

＜第４次周南市地域福祉計画＞

第４次周南市地域福祉計画は、令和３年３月に周南市が策定する「地域福祉計画」、周南市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」及び周南市の「再犯防止推進計画」「成年後見制度利用促進計画」と一体的に策定され、計画期間は令和３年度から令和７年度までの５年間となっている。

＜地域福祉計画評価・策定委員会＞

地域福祉計画評価・策定委員会は、地域福祉計画の実施期間の４年目から５年目の２年間設置される。

委員会は、関係団体等からの推薦及び公募によるもの 10 人以内で組織され、計画の調査研究に関すること、計画の立案に関すること、その他計画の策定に関することを所管する。

※地域福祉計画の実施期間の１年目から３年目の３年間は、**「地域福祉計画評価委員会」**が設置され、計画の進捗状況の把握と評価を行う。

地域福祉計画策定に係る基礎調査について

次期地域福祉計画である「第５次周南市地域福祉計画」の策定にあたり、基礎データを収集するため、次のとおり調査を実施する。

１　市民アンケート調査（案）

○調査目的：周南市の現状を把握し、回答内容を分析することで課題を抽出し、次期計画の方向性や重点事項などを整理するため

○調査対象：18 歳以上の市内在住者の中から、無作為に抽出した 3,500 人

○調査項目：次の事項についてアンケートを行う

・暮らしている地域での生活について
・地域福祉（住民による身近な支え合い）について
・社会福祉協議会、民生委員・児童委員について
・再犯防止の取り組みについて
・成年後見制度について
・周南市地域福祉計画の策定について
※別紙調査票（案）を参照のこと

○回答方法：次の①又は②のいずれかの方法

①調査票に記入後、同封する返信用封筒で委託事業者に送付
②オンラインの専用ページから回答

２　高校生・大学生等アンケート調査（案）

○調査目的：若い世代の地域福祉や地域福祉活動に対する意識を把握するため

○調査対象：市内の高校、大学（高等専門学校生含む）に通う生徒 1,000 人
（各校に対して、生徒への調査票の配布を依頼予定）

○調査項目：次の事項についてアンケートを行う

・暮らしている地域での生活について
・地域福祉（住民による身近な支え合い）について
※別紙調査票（案）を参照のこと

○回答方法：オンラインの専用ページから回答

（裏面に続く）

３　福祉関係団体調査（案）

○調査目的：団体の活動を行う中で、地域福祉に対する課題や今後の地域福祉の推進のために取り組むべき事項を把握するため

○調査対象：地域福祉関係団体から、約 20 団体を選定
（地区社会福祉協議会など主に地域で福祉に関する活動を行う団体）

○調査項目：次の事項についてアンケートを行う
・地域福祉に関する課題
・地域の担い手を増やすための方法
・地域福祉の推進のために取り組むべきこと　など
※別紙調査票（案）を参照のこと

○回答方法：調査票に記入後、委託事業者に返信
（必要に応じて、委託事業者から回答者に対してヒアリングを実施）

４　支援専門機関調査（案）

○調査目的：「制度の狭間」や「複合的課題」など、重層的支援を行う上での課題への対応状況や、市と各機関、機関同士の連携の状況を把握するため

○調査対象：重層的支援体制整備事業に係る支援専門機関から約 20 機関を選定
（包括支援センターなど福祉に係る支援を専門に行う機関）

○調査項目：次の事項についてアンケートを行う
・相談内容や支援対象者の傾向について
・福祉課題を抱えた個人や世帯からの相談、対応状況
・福祉課題を抱えた個人や世帯を発見した場合の対応状況
・「もやいネットセンター」の機能についての評価　　など
※別紙調査票（案）を参照のこと

○回答方法：調査票に記入後、委託事業者に返信

５　ワークショップ（案）

○実施目的：若い世代の地域福祉に対する意識と、地域住民の福祉ニーズの把握を行い、若い世代の地域福祉活動への参画を促す方策立案の基礎資料とするため

○参 加 者：大学生と地区住民・約 40 名程度（20 名×2 回）

○開催地区：未定

○開催時期：令和７年５月以降

地域福祉に関する市民意識調査（案）

日頃より、福祉行政の推進に際し、ご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本市では、令和３年３月に、「第４次周南市地域福祉計画」を策定し、その基本理念として、「地域でつながり、支え合う 安心して暮らせる福祉のまち しゅうなん」を掲げ、様々な福祉施策に取り組んでいます。

このたび、次期計画である「第５次周南市地域福祉計画」の策定にあたり、地域福祉に対する皆様のご意見を次期計画に反映させるため、市内の 18 歳以上の方（3,500 人を無作為抽出）を対象とした意識調査を実施することとしました。

ご回答いただく内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはございません。また、ご回答の内容から個人が特定されることは一切ございませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和●年●月

周　南　市

〔ご記入にあたってのお願い〕

○　この調査は、あて名のご本人が回答してください。（ご本人が記入することが困難な場合は、ご家族等の方が代筆されてもかまいません。）

○　回答は、当てはまる番号を選び、○で囲んでください。「その他」に当てはまる場合は、（　）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。

○　回答は、示された数の範囲で選び、あなたの考えに最も近いと思われる番号を○で囲んでください。

○　この調査の回答は、郵送又はＷＥＢでお願いします。（回答はどちらか１回のみ）

・　ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒で、**●月●日（●）まで**に郵便ポストへ投かんしてください。（切手は、不要です。）

・　ＷＥＢで回答する場合は、右横の二次元コードから専用フォームにアクセスしてください。

URL: ●●●●●●

ダミーです

◇回答方法で不明な点や、調査の目的等に関するお問い合わせは、下記までお願いします

回答方法・アンケートに関する問合せ先〔受託業者〕	株式会社　名豊 〒450-0003　名古屋市中村区名駅南 1-21-19 名駅サウスサイドスクエア 9 階 電話　052-526-6001
調査の目的・計画策定に関する問合せ先	周南市　福祉部　地域福祉課 〒745-8655　周南市岐山通 1-1 電話　0834-22-8465

あなたご自身のことについてお伺いします。

問１　あなたの性別を教えてください。（○は１つ）

１．男性　　２．女性
３．その他（　　）

問２　あなたの令和●年●月●日現在の年齢はどれにあてはまりますか。（○は１つ）

１．１０歳代・２０歳代　　２．３０歳代　　３．４０歳代
４．５０歳代　　５．６０歳代　　６．７０歳代
７．８０歳代以上

問３　あなたの雇用形態などを教えてください。（○は１つ）

１．正規の従業員
２．派遣の従業員、契約の従業員、パートの従業員、アルバイトの従業員
３．自営業（農林・漁業に従事を含む）　　４．学生
５．家事専業　　６．無職
７．その他（　　）

問４　あなたの世帯の家族構成を教えてください。（○は１つ）

１．単身世帯（ひとり暮らし）　　２．夫婦のみの世帯
３．二世代世帯（親と子）　　４．三世代世帯（親と子と孫）
５．その他の世帯（　　）

お住まいの地域での生活についてお伺いします。

問５　あなたがお住まいの地域は、次のどれにあてはまりますか。（○は１つ）

１．熊毛　　２．久米、櫛浜、鼓南
３．周陽、桜木、秋月、岐山、大津島　　４．遠石、関門、中央、今宿
５．富田、菊川　　６．福川、夜市、戸田、湯野、和田
７．須々万、長穂、向道、中須、須金、鹿野

問６　ご近所の方とは、どの程度お付き合いしていますか。（○は１つ）

１．困ったときにお互いに相談したり助け合ったりしている
２．相談や助け合うまではいかないが、世間話などを親しく話している
３．顔があえばあいさつをしている
４．ほとんど付き合いがない

問７　あなたは現在、自治会に加入していますか。（○は１つ）

１．加入している　⇒ 問９へ　　２．加入していない　⇒ 問８へ

問７で「２．加入していない」と答えた方にお尋ねします。

問８　加入していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．組織がないから　　２．近所の人に誘われないから
３．活動する時間がないから　　４．加入する必要性を感じないから
５．会費を払いたくないから　　６．役員をやりたくないから
７．体調面の不安などの事情により活動に参加できないから
８．特に理由はない　　９．その他（　　）

問９　地域で参加している活動はどのようなものですか。（○はいくつでも）

１．自治会、コミュニティ関係　　２．老人クラブ、女性団体、青年団関係
３．市民センター等の各種教室　　４．ＰＴＡ、学校関係
５．消防団、防災活動関係　　６．ボランティア関係
７．特に参加していない
８．その他（　　）

問 10　地域の行事や活動に、どの程度参加していますか。（○は１つ）

１．都合がつく限り参加している
２．頼まれれば参加している　→ 問 12 へ
３．ほとんど参加していない（年に１回程度）
４．全く参加していない　→ 問 11 へ

問 11　問 10 で「３．ほとんど参加していない」「４．全く参加していない」と回答された方にお尋ねします。その理由で一番近いものを教えて下さい。（○は１つ）

１．仕事や家事が忙しいから　　２．関心がないから
３．声がかからないから　　４．知り合いが少ないから
５．行事、活動の情報がないから
６．その他（　　）

※問 12 へお進みください。

問 12　どのような地域活動を期待しますか。最も期待するものをお選びください。
（〇は１つ）

１．緊急事態が起きたときの対応
２．防災、防犯など日頃の協力
３．お祭り、運動会など地域住民間の交流
４．子どもや高齢者の支援などの住民間の普段からの助け合い
５．特にない
６．その他（　　）

問 13　あなたは家や学校・職場以外に居場所がありますか。（〇は１つ）

１．ある　　２．ない

問 13 で「１．ある」と答えた方にお尋ねします。

問 14　具体的にはどのような場所ですか。（〇はいくつでも）

１．自治会・コミュニティなど近所の活動の場　２．習い事の教室・塾
３．スポーツなどの活動の場　４．趣味などのサークル
５．ＳＮＳやインターネット上のコミュニティ　６．図書館や市民センターなどの公共施設
７．知人・友人同士で集まる場
８．その他（　　）

問 15　あなたは、今の生活に満足していますか（〇は１つ）

１．満足している　２．どちらかといえば満足している
３．どちらかといえば満足していない　４．満足していない
５．わからない

問 16　地震や火災等の災害時に住民同士が協力し合えるために、平常時からどのようなことが必要だと思いますか。最も必要だと思うものをお選びください。（〇は１つ）

１．地域での定期的な防災訓練、勉強会
２．防災マップの作成
３．支援が必要な人それぞれの支援計画を地域のみんなで考えること
４．特にない
５．その他（　　）

問 17　災害時の避難について不安に感じることは何ですか。（○は主なもの３つまで）

１．避難場所への速やかな移動	２．避難するタイミング
３．災害に関する的確な情報の入手	４．家族の安否の確認
５．避難所での生活	
６．特にない	
７．その他（　　）	

問 18　周南市では、地震などの災害発生時に、家族等の援助が十分に得られず、助けを必要とする避難行動要支援者（障がいのある人、高齢者などで、災害時に何らかの支援が必要な人）の名簿を整備し、災害発生時に支援が得られる仕組みづくりに取り組んでいます。あなたはこの制度を知っていますか。（○は１つ）

１．知っている
２．聞いたことはあるが、内容までは知らない
３．まったく知らない

地域福祉（住民による身近な支え合い）についてお伺いします。

問 19　あなたや身近な人が日常生活で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

１．身の回りのこと（体力的に不安があり家事や外出がひとりではできない、障害があり日常生活を送るのに不便がある、認知症等で財産管理ができない等）
２．子育てに関すること（子どもの発育に問題がある、家族の協力が得られない、いじめや不登校がある、ひきこもりの問題等）
３．家族の介護に関すること（介護する人が疲れきっている、介護により通学や就業に支障が出ている等）
４．障害がある家族に関すること（老後に障害がある子どもの面倒を誰が見てくれるのか等）
５．経済的なこと（失業して収入がない、カードローンなどの債務、家賃が払えない等）
６．住まいの確保に関すること（保証人がいない、賃貸住宅への入居を断られた等）
７．住環境に関すること（老朽化している、周囲にゴミ屋敷がある、空き屋の管理等）
８．治安に関すること（近所に空き巣が入った、ひったくりがあった等）
９．災害時の備えに関すること（万が一の時に自分や家族がひとりでは避難できない等）
10．近所づきあいに関すること（つきあいがなく、不安や心細さを感じる等）
11．困っていることはない
12．その他（　　）

問 20　困った時や生活の問題を解決したい時、誰に相談しますか。（○はいくつでも）

1．親族
2．近所の人
3．知人、友人
4．自治会、コミュニティ関係者
5．民生委員・児童委員
6．ケアマネジャー、ヘルパーなど、福祉サービス関係者
7．行政機関（市役所等）の職員
8．福祉員、地域福祉コーディネーター
9．病院、診療所等の医療関係者
10．学校、幼稚園、認定こども園、保育所等の職員
11．相談しない
12．相談する先がない
13．その他（　　）

問 20 で「11．相談しない」と回答した方にお尋ねします。

問 21　相談しない理由は何ですか。（○は１つ）

1．他人に頼らず、自分で解決したいから
2．相談できる人がいないから
3．顔見知りの人に相談するのは気まずいから
4．他人との関わりを持ちたくないから
5．誰に相談したらいいかわからないから
6．その他（　　）

問 22　あなた又はあなたの家族に、支援（身体的・経済的等）が必要な人はいますか。
（〇は１つ）

１．いる	２．いない

問 22 で「１．いる」と回答した方にお尋ねします。

問 23　具体的にはどのような方ですか。（〇はいくつでも）

１．６歳未満　　２．外国籍
３．介護保険サービスを受けている　４．障害福祉サービスを受けている
５．介護保険や障害福祉サービス等公的サービスは受けていない
６．その他（　　）

問 24　家族の介護や支援等をしている方にとってどのような支援が必要だと思いますか。
（〇はいくつでも）

１．介護者・支援者が自身のことについて相談できる場所の提供
２．支援が必要な人本人について相談できる場所の提供
３．支援や介護を代行するサービスの提供
４．経済的な支援（　　）
５．支援や介護に関して同じ悩みをもつ人同士が出会える機会の提供
６．支援が必要な本人が参加したり、活動できる場の提供
７．わからない
８．その他（　　）

問 25　あなた又はあなたのご家族で、いわゆるひきこもりの状態にある方はいらっしゃいますか。（〇は１つ）

※複数人いらっしゃる場合は、より長期の人について回答ください

１．いる（　　歳）　　２．いない

問 25 で「１．いる」と回答した方にお尋ねします。

問 26　その方は、どのくらいその状態が続いていますか。（〇は１つ）

１．半年未満　　２．半年以上～１年未満　　３．１年以上（　　年）

問 27　どのような支援が必要ですか。（〇はいくつでも）

１．親身に話を聴く
２．就労に関する支援を行う
３．関係機関（医療・生活困窮など）を紹介する
４．社会参加（ボランティア活動など）の機会をつくる
５．同じ悩みを持つ人と出会える場所を提供する
６．匿名で（自分の名前を知られずに）相談することができる
７．無料で相談することができる
８．相談のために自宅や指定する場所を訪問する
９．オンラインでの相談ができる
10．支援は必要ない
11．その他（　　）

問 28　近所に困っている人がいる場合、
「①現在、手助けしていること」
「②今後、手助けできると思うこと」
「③現在又は将来、あなた自身が手助けして欲しいと思うこと」はありますか。
（あてはまるものすべてに○）

困っている人への支援の内容	①手助けしている	②手助けできる	③手助けして欲しい
安否確認の声かけ、話し相手（家に閉じこもりがちで、周囲との付き合いが少ない人に）			
ちょっとした電球の取り替えや買い物、ゴミ出しなど（身の回りのことをするのが困難な人に）			
子どもの一時預りや保育園等の送迎（共働き、ひとり親家庭など小さな子どものいる人に）			
通院の送迎や外出の支援（一人で外出が困難な人に）			
悩み事、心配ごとの相談			
その他（　　）			

問 29　地域の人たちが協力して取り組む支援として、どのようなことが必要だと考えますか。（○は 2 つまで）

1．ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯への支援
2．家族と同居しているが、日中は一人になる高齢者への支援
3．障害者（児）への支援
4．障害者（児）の家族への支援
5．子育てで悩んでいる家庭への支援
6．健康づくり支援
7．青少年の健全育成への支援
8．災害時の助け合い
9．地域で孤立しているなどの社会的孤立者への支援
10．特にない
11．その他（　　）

問 30　住民同士が協力して地域づくりを進めるために、行政ではどのような支援を行う必要があると思いますか。（○は 2 つまで）

１．地域の人々が知り合う機会を増やす
２．支え合う地域づくりに関する意識啓発をする
３．お互いの人格を認め合いながら、共に生きる地域づくり（まちづくり）に関する意識啓発をする、あるいは組織づくりをする
４．地域の自治会（町内会など）活動・地区社会福祉協議会、ボランティア活動への参加促進や活動支援をする
５．地域で活動する様々な団体同士の交流を進める
６．特にない
７．その他（　　）

問 31　地域福祉（＝住民による身近な支え合い）を充実させていくうえで、市と地域住民の関係について、考えが最も近いものをお選びください。（○は１つ）

１．家庭や地域でお互いが助け合い、できないことは市が支援する
２．市と住民が協力し合い、福祉の課題について共に取り組む
３．市が福祉サービスを充実させていく

問 32　あなたは、地域行事や福祉に関する情報をどこから得ていますか。（○はいくつでも）

１．市広報や回覧板	２．社会福祉協議会の広報紙
３．行政の窓口	４．社会福祉協議会の窓口
５．福祉施設	６．市民センター
７．ボランティア	８．自治会等の地域の役員
９．民生委員・児童委員	10．家族・親戚
11．知人・友人・職場の同僚	12．近所の人
13．インターネット	14．テレビ・新聞・雑誌
15．情報を必要としていない	16．その他（　　）

問 33　あなたは、福祉や保健に関する情報でどのようなものを入手したいですか。（○はいくつでも）

１．地域のサークル活動やイベント情報	２．講座や教室等の学習機会の情報
３．健康づくりのサービス・利用方法	４．高齢者に係るサービス・利用方法
５．障害者（児）に係るサービス・利用方法	６．子育てに係るサービス・利用方法
７．福祉や保健のイベント	８．介護保険に係る制度や利用方法
９．各種相談窓口の情報	10．特にない
11．その他（　　）	

問 34　あなたは、「地域福祉活動（＝住民による身近な支え合いの活動）」に参加したいと思いますか。（○は１つ）

１．率先して参加したい
２．どちらかといえば参加したい　→ 問 36 へ
３．分からない
４．どちらかといえば参加したくない　→ 問 35 へ
５．参加したくない

問 35　問 34 で、地域福祉活動に「４．どちらかといえば参加したくない」「５．参加したくない」と回答した方にお尋ねします。主な理由を教えてください。（○は１つ）

１．機会がないから
２．時間がないから
３．興味、関心がないから
４．関心はあるが、どう参加したらよいか分からないから
５．健康上の理由で参加できないから
６．その他（　　）

※問 37 へお進みください。

問 36　問 34 で、「１．率先して参加したい」「２．どちらかといえば参加したい」「３．わからない」と回答した方にお尋ねします。あなたが地域福祉活動に参加する場合、どの範囲まで活動ができると考えますか。（○は１つ）

１．隣近所　　２．自治会内
３．小学校区内　　４．中学校区内
５．市内全体　　６．わからない
７．その他（　　）

※問 37 へお進みください。

問 37　地域福祉をすすめていくために、住民一人ひとりはどのようなことに取り組むべきだと考えますか。（○は１つ）

１．普段から身近な近所付き合いや助け合いを行う
２．福祉の知識や技術を身につける
３．自治会、コミュニティ活動に参加する
４．ボランティア活動に参加する
５．わからない
６．その他（　　）

問 38　社会的孤立やひきこもりが社会問題となっていますが、地域として、これらの問題に対してどのようなことができると考えますか。（○は主なもの３つまで）

１．誰もが立ち寄れる居場所づくり　　２．あいさつや声かけ
３．相談機関等の情報提供　　４．本人やその家族からの話をきく
５．日ごろからの見守り
６．状態が深刻化する前に、行政や民生委員・児童委員に連絡する
７．講演会や講座等を受講し、理解を深める
８．地域で何かできるとは思えない
９．その他（　　）

問 39　今後、取り組むべき地域福祉の課題として、次のうちどれを優先させるのがよいと考えますか。（○は３つまで）

１．学校や地域での福祉教育の充実
２．福祉に関する情報、活動内容などの提供
３．地域の福祉活動のリーダーなど人材の養成・確保
４．住民が地域で活動できる場の確保・整備
５．住民・ボランティアなどの連携による地域で支え合う仕組みづくり
６．身近なところでの総合的な保健、福祉、医療相談窓口の充実
７．その他（　　）

社会福祉協議会、民生委員・児童委員についてお伺いします。

問 40　あなたは、周南市社会福祉協議会を知っていますか。（○は１つ）

１．名称や活動内容を知っている　→ 問 41 へ
２．名称は知っているが、活動内容は知らない　→ 問 42 へ
３．知らない　→ 問 42 へ

問 41　問 40 で、「１．名称や活動内容を知っている」と回答した方にお尋ねします。周南市社会福祉協議会は地域福祉推進の活動をしていますが、その活動の中で、今後充実してほしいと思うものはどれですか。（○は３つまで）

１．地域の居場所作りの支援（ふれあいいきいきサロンなど）
２．健康、趣味活動の支援（介護予防教室など）
３．日常生活の見守り活動（福祉員など）
４．地域福祉コーディネーターの取り組み
５．防災活動への支援（災害ボランティア活動など）
６．ボランティアの育成（ボランティアセンター運営など）
７．福祉教育の推進（学校や地域での研修など）
８．募金活動の推進（共同募金や歳末助け合い募金など）
９．総合的な相談窓口
10．その他（　　）

※問 42 へお進みください。

問 42　あなたは、民生委員・児童委員制度を知っていますか。（○は１つ）

１．名称や活動内容を知っている　→　問 43 へ
２．名称は知っているが、活動内容は知らない　→　問 45 へ
３．知らない　→　問 45 へ

問 43　問 42 で、「１．名称や活動内容を知っている」と回答した方にお尋ねします。あなたの地区を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。（○は１つ）

１．氏名や活動内容を知っている　→　問 44 へ
２．氏名は知っているが、活動内容は知らない　→　問 45 へ
３．全く知らない　→　問 45 へ

問 44　問 43 で、「１．氏名や活動内容を知っている」と回答した方にお尋ねします。民生委員・児童委員に相談したことがありますか（○は１つ）

１．相談したことがある
２．相談したことがない

再犯防止の取り組みについてお伺いします。

問 45　あなたは、再犯防止の取り組みを知っていますか。（○は１つ）

１．よく知っている
２．少し知っている
３　聞いたことがある
４．知らない

問 46　再犯防止に協力する民間協力者として、知っているものに○をつけて下さい。（○はいくつでも）

１．保護司※1	２．更生保護女性会※2
３．協力雇用主※3	４．ＢＢＳ会※4
５．更生保護施設※5	６．知らない
７．その他（　　）	

※１　保　護　司　：　犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティア
※２　更生保護女性会　：　犯罪予防や青少年の健全育成のための活動などを行うボランティア
※３　協力雇用主　：　出所者等を犯罪歴を承知の上で雇用し、立ち直りに協力する事業主
※４　ＢＢＳ会　：　少年たちと兄や姉のような立場で接することで、成長を助けるボランティア
※５　更生保護施設　：　出所後、直ちに自立して生活することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設

問 47　再犯防止に関する広報・啓発活動の取り組みで知っているものに○をつけてください。（○はいくつでも）

１．社会を明るくする運動
２．再犯防止啓発月間
３．知らない
４．その他（　　）

問 48　あなたは、再犯防止に関して、広く理解や関心を深めるためには、何に取り組むべきだと思いますか。（○は３つまで）

１．芸能人やキャラクターが出演するイベントを充実させる
２．誰もが参加できる講習会などのシンポジウムを充実させる
３．テレビや新聞などでの広報を充実させる
４．インターネットでの情報発信を充実させる
５．パンフレットやポスターを増やす
６．再犯防止に協力する民間協力者に対する表彰の機会を増やす
７．学校の授業で取り上げるよう働きかける
８．地域や社会教育の場で話し合う機会をもつよう働きかける
９．職場の研修などで取り上げるよう働きかける
10．その他（　　）

問 49　再犯防止のために、周南市は何に取り組むべきだと思いますか。（○は３つまで）

１．再犯防止のための計画を策定する
２．犯罪歴のある人を、市の関係機関で雇用する
３．犯罪歴のある人に対する支援ネットワークをつくる
４．住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動する
５．再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする
６．わからない
７．その他（　　）

問 50　あなたは、再犯防止のために、どのような協力をしたいと思いますか。（○は３つまで）

１．犯罪をした人に直接会って、継続的に助言や援助をする
２．犯罪歴のある人を雇用する
３．更生保護施設にお金や品物などを寄付する
４．再犯防止に関するボランティア活動に参加する
５．広報・啓発活動に参加する
６．インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する
７．わからない
８．その他（　　）
９．協力したくない

成 年 後 見 制 度 に つ い て お 伺 い し ま す 。

問 51　あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は１つ）

１．よく知っている ２．少し知っている ３　聞いたことがある	問 52 へ
４．知らない	問 58 へ

問 52　問 51 で「１．よく知っている」「２．少し知っている」「３．聞いたことがある」と答えた方にお尋ねします。知っているものに○をつけて下さい。
（○はいくつでも）

１．法定後見制度がある
２．任意後見制度がある
３．本人の判断能力の程度に応じ、「後見」「保佐」「補助」の３つの区分がある
４．法定後見の申立て手続きは、４親等内の親族が行うことができる
５．何らかの理由で本人が申立てできず、身寄りがない場合は、市長が申立てをすることができる
６．成年後見人は親族の他、弁護士、司法書士及び社会福祉士等の専門職が選任されることがある
７．成年後見人に社会福祉法人等の法人が選任されることがある
８．成年後見人の業務は財産管理と身上の保護がある
９．成年後見人がついても本人は選挙権を失わない
10．この中に知っているものはない

問 53　あなたは、必要となったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか。
（○は１つ）

１．はい ２．現在利用中である ３．わからない	問 55 へ
４．いいえ	問 54 へ

問 54　問 53 で「４．いいえ」と答えた方にお尋ねします。利用したくない理由は何ですか。（○は３つまで）

１．成年後見制度を利用しなくても、親族の援助が期待できるから
２．他人（家族・親族含む）に財産などを任せることに不安があるから
３．誰が後見人に選任されるか不安であるから
４．家族・親族の信頼関係が崩れる恐れがあるから
５．申立て手続きが大変そうだから
６．申立て費用や成年後見人に支払う報酬がどのくらい必要か、わからないから
７．家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから
８．後見人がいなくても、困ることが具体的に思いつかないから
９．わからない
10．その他（　　）

問 55　現在、あなたの身近に成年後見制度の利用が望ましい人がいますか。（○は１つ）

１．いる
２．いない
３．わからない

問 56　成年後見制度の利用を促進するには、何が課題だと思いますか。（○は３つまで）

１．成年後見制度やその手続きについて知る機会がないこと
２．成年後見制度が分かりにくいこと
３．申立て費用の負担があること
４．相談窓口や手続きを支援してくれるところがわからないこと
５．後見人に対して報酬の費用負担があること
６．その他（　　）

問 57　成年後見制度の相談先を知っていますか。（○はいくつでも）

１．家庭裁判所　　２．法テラス
３．専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）　　４．周南市役所
５．周南市成年後見支援センター（社会福祉協議会）　　６．地域包括支援センター
７．知らない
８．その他（　　）

問 58　あなたは、「市民後見人」をご存知ですか。（※市民後見人とは、弁護士や司法書士などの資格を持たない親族以外の人で、成年後見制度に関する一定の知識や技術を身に付けたうえで、家庭裁判所から選任された成年後見人等のことです。○は１つ）

１．知っている
２．聞いたことがあるが、内容までは知らない
３．まったく知らない

問 59　あなたは、「市民後見人」になってみたいと思いますか。（○は１つ）

１．なってみたい	２．条件が整えばなってみたい
３．なりたいとは思わない	４．わからない

問 60　「市民後見人」になる人を増やすためには、何が課題だと思いますか。
（○は３つまで）

１．制度自体が分からない	２．研修の機会がない
３．手続きが複雑である	４．報酬が期待できない
５．仕事などで時間が取れない	６．家族の理解が得られない
７．その他（　　）	

周南市地域福祉計画の策定についてお伺いします。

問 61　国は、市が策定する地域福祉計画に、以下の項目を盛り込むよう定めています。
周南市で特に必要と思う取り組みは、何だと思いますか。（○は３つまで）

１．福祉以外の様々な分野（まちおこし、産業等）との連携
２．様々な課題を抱える人や世帯への総合的な相談支援
３．高齢者、障害者、子ども等が共に利用できるサービスの提供
４．住まいの確保に困っている人への支援
５．就労が困難な人への支援
６．判断能力に不安がある人への支援
７．高齢者、障害者、子ども等に対する虐待への対応
８．犯罪をした人への社会復帰の支援
９．誰もが気軽に立ち寄れる居場所の整備
10．寄付や募金などによる財源の確保

問 62　その他、地域福祉についてご提案、ご意見がありましたら、ご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れて、●月●日までに郵便ポストへ投かんしてください。

地域福祉に関する高校生・大学生意識調査（案）

日頃より福祉行政の推進に際し、ご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本市では、令和３年３月に、「第４次周南市地域福祉計画」を策定し、その基本理念として、「地域でつながり、支え合う 安心して暮らせる福祉のまち しゅうなん」を掲げ、様々な福祉施策に取り組んでいます。

このたび、次期計画である「第５次周南市地域福祉計画」の策定にあたり、地域福祉に対する若い世代のご意見を次期計画に反映させるために、市内の高校生及び大学生（高等専門学校生含む）の 1,000 人を対象として、意識調査を実施することとしました。

ご回答いただく内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはございません。また、ご回答の内容から個人が特定されることは一切ございませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和●年●月

周　南　市

〔ご記入にあたってのお願い〕

○　回答は、右横の二次元コードから専用フォームにアクセスしてください。

URL: ●●●●●●

ＩＤ：＊＊＊＊＊

ダミーです

○　回答は、当てはまる番号を選んでください。「その他」に当てはまる場合は、各問の入力フォーム内になるべく具体的に、その内容を入力してください。

○　回答は、示された数の範囲で選び、あなたの考えに最も近いと思われる番号を選んでください。

○　回答は、**●月●日（●）まで**にお願いします。

※ID は二重回答を防ぐために使用するもので、回答者を特定するものではありません。

◇回答方法で不明な点や、調査の目的等に関するお問い合わせは、下記までお願いします

回答方法・アンケートに関する問合せ先〔受託業者〕	株式会社　名豊 〒450-0003　名古屋市中村区名駅南 1-21-19 名駅サウスサイドスクエア 9 階 電話　052-526-6001
調査の目的・計画策定に関する問合せ先	周南市　福祉部　地域福祉課 〒745-8655　周南市岐山通 1-1 電話　0834-22-8465

あなたご自身のことについてお伺いします。

問１　あなたの性別を教えてください。（１つ選択）

１．男性　　２．女性　　３．その他（　　）

問２　あなたの令和●年●月●日現在の所属を教えてください。（１つ選択）

１．高校生　　２．大学生（高等専門学校生を含む）　　３．その他（　　）

問３　あなたの世帯の家族構成を教えてください。（１つ選択）

１．単身世帯（ひとり暮らし）　　２．二世代世帯（親と子）
３．三世代世帯（親と子と孫）　　４．その他の世帯（　　）

お住まいの地域での生活についてお伺いします。

問４　あなたがお住まいの地域は、次のどれにあてはまりますか。（１つ選択）

１．熊毛　　２．久米、櫛浜、鼓南
３．周陽、桜木、秋月、岐山、大津島　　４．遠石、関門、中央、今宿
５．富田、菊川　　６．福川、夜市、戸田、湯野、和田
７．須々万、長穂、向道、中須、須金、鹿野　　８．１～７以外

問５　あなたは地域の人と話す機会がありますか（１つ選択）

１．よくある　　２．ときどきある
３．ほとんどない

問６　あなたは地域の行事や活動に、どの程度参加していますか。（１つ選択）

１．都合がつく限り参加している
２．頼まれれば参加している　　→ 問８へ
３．ほとんど参加していない（年に１回程度）
４．全く参加していない　　→ 問７へ

問６で「３．ほとんど参加していない」「４．全く参加していない」と回答された方にお尋ねします。

問７　その理由で一番近いものを教えて下さい。（１つ選択）

１．アルバイトや家の用事が忙しいから	２．関心がないから
３．声がかからないから	４．知り合いが少ないから
５．行事、活動の情報がないから	
６．その他（　　）	

問８　あなたは家や学校以外に居場所がありますか。（１つ選択）

１．ある　⇒問９へ	２．ない　⇒問 10 へ

問８で「１．ある」と答えた方にお尋ねします。

問９　具体的にはどのような場所ですか。（複数選択可）

１．自治会・コミュニティなど近所の活動の場	２．習い事の教室・塾
３．アルバイト先	４．スポーツなどの活動の場
５．友達同士で集まる場	６．趣味などのサークル
７．ＳＮＳやインターネット上のコミュニティ	
８．図書館や市民センターなどの公共施設	
９．その他（　　）	

問 10　あなたは、今の生活に満足していますか（１つ選択）

１．満足している	２．どちらかといえば満足している
３．どちらかといえば満足していない	４．満足していない
５．わからない	

地域福祉（住民による身近な支え合い）についてお伺いします。

問 11　あなたや身近な人が日常生活で困っていることは何ですか。（複数選択可）

1．身の回りのこと（体力的に不安があり家事や外出がひとりではできない、障害があり日常生活を送るのに不便がある、認知症等で財産管理ができない等）
2．子育てに関すること（子どもの発育に問題がある、家族の協力が得られない、いじめや不登校がある、ひきこもりの問題等）
3．家族の介護に関すること（介護する人が疲れきっている、介護により通学や就業に支障が出ている等）
4．障害がある家族に関すること（老後に障害がある子どもの面倒を誰が見てくれるのか等）
5．経済的なこと（失業して収入がない、カードローンなどの債務、家賃が払えない等）
6．住まいの確保に関すること（保証人がいない、賃貸住宅への入居を断られた等）
7．住環境に関すること（老朽化している、周囲にゴミ屋敷がある、空き屋の管理等）
8．治安に関すること（近所に空き巣が入った、ひったくりがあった等）
9．災害時の備えに関すること（万が一の時に自分や家族がひとりでは避難できない等）
10．近所づきあいに関すること（つきあいがなく、不安や心細さを感じる等）
11．困っていることはない
12．その他（　　）

問 12　困った時や生活の問題を解決したい時、誰に相談しますか。（複数選択可）

1．家族・親族
2．近所の人
3．知人、友人
4．学校、塾等の先生
5．スポーツクラブ等の指導者
6．自治会、コミュニティ関係者
7．民生委員・児童委員
8．ケアマネジャー、ヘルパーなど、福祉サービス関係者
9．行政機関（市役所等）の職員
10．福祉員、地域福祉コーディネーター
11．病院、診療所等の医療関係者
12．相談しない
13．その他（　　）

問 12 で「11. 相談しない」と回答した方にお尋ねします。

問 13　相談しない理由は何ですか。（１つ選択）

１．他人に頼らず、自分で解決したいから
２．相談できる人がいないから
３．顔見知りの人に相談するのは気まずいから
４．他人との関わりを持ちたくないから
５．誰に相談したらいいかわからないから
６．その他（　　）

問 14　あなたは、「地域福祉活動（＝住民による身近な支え合いの活動）」に参加したいと思いますか。（１つ選択）

１．率先して参加したい
２．どちらかといえば参加したい
→ 問 15 へ

３．どちらかといえば参加したくない
４．参加したくない
５．わからない
→ 問 19 へ

問 15～18 は問 14 で「１．率先して参加したい」「２．どちらかといえば参加したい」と回答した方にお尋ねします。

問 15　あなたが地域福祉活動に参加したいと思う理由は何ですか。（複数選択可）

１．人の役に立ちたいから
２．自分の成長につながると思うから
３．自分たちの暮らしのために必要な活動だと思うから
４．活動の内容が楽しそう（おもしろそう）だから
５．自由な時間を有効に活用したいから
６．自分の趣味や特技を活かすことができるから
７．友達や知っている人から誘われたから
８．学校の授業などで地域福祉活動について知る機会があったから
９．地域福祉活動に参加すると進学や就職に有利になるから
10．地域とのつながりや居場所を作りたいから
11．何となく
12．その他（　　）

問 16　地域福祉活動に参加したいと思っていても、実際に行動に移せない（参加することができない）理由は何だと思いますか。（複数選択可）

１．学校や塾などが忙しく時間が確保できないから
２．アルバイトや家の用事が忙しく時間が確保できないから
３．地域福祉活動が行われている場所に行くまでの交通手段がないから
４．知っている人が少ない（いない）場所で活動することに抵抗があるから
５．地域福祉活動についての情報がないから
６．地域福祉活動に参加するきっかけがない・わからないから
７．自分が参加したい内容の地域福祉活動がないから
８．地域福活動の役に立てるか自信がないから
９．保護者が地域福祉活動への参加を許可してくれないから
10．活動しても金銭的な対価が得られないから
11．その他（　　）

問 17　あなたは、どのような地域福祉活動に参加したいと思いますか。（複数選択可）

１．地域の環境美化や生活環境を守る活動
２．高齢者・障害者の手助けなど社会福祉活動
３．児童や青少年の育成に関する活動
４．健康づくりの活動
５．地域の行事やイベント、地域おこしの活動
６．地域の防犯や防災のための活動
７．その他（　　）

問 18　あなたが地域福祉活動に参加する場合、どの範囲まで活動ができると考えますか。（１つ選択）

１．隣近所	２．自治会内
３．小学校区内	４．中学校区内
５．市内全体	６．わからない
７．その他（　　）	

問 14 で「３．どちらかといえば参加したくない」「４．参加したくない」「５．わからない」と回答した方にお尋ねします。

問 19　主な理由を教えてください。（１つ選択）

１．機会がないから
２．時間がないから
３．興味、関心がないから
４．関心はあるが、どう参加したらよいか分からないから
５．健康上の理由で参加できないから
６．その他（　　）

問 20　その他、地域福祉についてご提案、ご意見がありましたら、ご回答ください。
（自由回答）

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

地域福祉計画策定のための福祉関係団体調査（案）

団体名			
記入者名		連絡先（電話）	（　　）　　－

1　地域福祉に関する課題についてお伺いします
（１）　普段活動されている中で、地域の人々からどのような日常の困りごと、地域の問題などをお聞きしますか。（すべての項目にお答えいただく必要はありません）
①高齢者支援・介護・ダブルケア等について （課題・問題） 例：老老介護でどこに相談すればいいのかわからず抱えてしまう　など
②障がい者支援 （課題・問題） 例：支援している方も高齢化していて介護者が先々の不安を抱えている　など
③子育て支援 （課題・問題） 例：安心して子どもが過ごせる場所が少ない　など
④防災 （課題・問題） 例：安全な所にすぐ避難できない　など
⑤生活困窮者 （課題・問題） 例：生活保護を受けられないギリギリの生活をしている方が、十分な介護サービスを受けられない　など

⑥子どもの貧困 （課題・問題） 例：一人親世帯の貧困に対する対応が課題　など
⑦社会的孤立・ひきこもり・８０５０問題 （課題・問題） 例：当人だけで解決できないため、行政が介入できる第一歩が必要　など
⑧虐待防止、差別解消 （課題・問題） 例：親子間、家族間では、どこから虐待と判断するのか分かりづらい　など
⑨権利擁護・成年後見人制度の利用 （課題・問題） 例：成年後見人制度を理解している人が少ない、必要と思われる人ほど理解が乏しい　など
⑩その他 （課題・問題） 例：多頭飼育、ゴミ屋敷などの問題がある　など

２　地域における福祉活動を行う上で、連携が深い相手を教えてください

例：他の民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、ボランティア団体　など

３　地域課題に取り組むための地域の担い手を増やすには、どのようにしたらよいとお考えですか

例：活動に興味を持ってもらえるよう情報発信が必要、人材確保の為に市で初任者研修を行ってもらいたい　など

４　地域福祉をすすめるために取り組むべきことについてお伺いします

（１）　地域課題に対して、行政が取組むべきことは何だとお考えですか。

例：住民にわかりやすいような身近な相談窓口の強化　など

（２）　地域課題に対して、地域の組織・団体が取組むべきことは何だとお考えですか。

例：コミュニティソーシャルワーカーの設置、サービスのコーディネート　など

（３）　地域課題に対して、地域住民が取組むべきことは何だとお考えですか。

例：近隣者と顔が見える関係を続ける、地区の行事等に参加しつながりを持つ　など

５　貴団体の活動を続けていくうえで、今後どのような工夫が必要とお考えですか
例：サロン等の開催方法の工夫、活動参加者への研修内容　など

６　その他、地域福祉の推進に必要かと思われる内容等がございましたら、ご記入ください

ご協力ありがとうございました。

地域福祉計画策定に向けたアンケート調査（案）
（相談支援機関用）

平素より、地域福祉行政の推進にあたり、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

本市では令和７年度に「第５次周南市地域福祉計画」の策定を予定しており、本計画では、包括的支援体制の構築に向けた総合相談支援体制の充実が重要となります。

このアンケート調査は、計画の策定にあたり、組織間の連携や複合的課題、制度の狭間への対応などについて、各相談支援機関の皆様のお考えを確認するものです。

お忙しい中大変恐縮ですが、下記項目にご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、アンケートの回答は全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。

令和●年●月

周　南　市

＜回答者＞

所属機関名	
氏名	電話番号
通常業務で関わる主な福祉分野（○は１つだけ） １．高齢福祉　２．障害福祉　３．児童福祉　４．生活困窮 ５．そ の 他（　　）	

本調査において「制度の狭間」「複合的課題」とは、一人の相談者や一つの世帯において、既存の制度では対応できない課題や、複数分野の福祉課題を抱えていることを言います。

問１　最近の相談内容や支援対象者の傾向について、どのように感じますか。
（○はいくつでも。「その他」にも自由にお書きください）

① 既存の制度では対応できない個人や世帯が増えてきている
② 分野をまたがる複合的な福祉課題を抱える個人や世帯が増えている
③ 対象者だけではなく、世帯全体への支援の必要なケースが増えている
④ 地域のつながりが薄れ、社会から孤立した個人や世帯が増えている
⑤ 相談や支援を拒否する個人や世帯が増えている
⑥ 特に変化は感じない
⑦ その他（　　）

問２　「制度の狭間」や「複合的課題」といった福祉課題を抱えた個人や世帯について、相談を受けたことがありますか。（◯は１つだけ）

① ある
② ない

問２で「①ある」とお答えの方におうかがいします。

問２－１　問２のような相談内容は、どこから受けることが多いですか。（〇はいくつでも）

①当事者	②近隣住民	③民生委員・児童委員
④市役所	⑤別の相談支援機関	⑥事業所
⑦その他（　　）		

問２－２　受けた相談が通常関わる業務範囲以外の内容である場合、どのように対応していますか。（〇は２つまで）

① 相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、相談者と担当部署等を訪問するなどの対応をしている
② 相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、対応を依頼している
③ 相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関を相談者に伝え、相談者から担当部署等へ相談してもらっている
④ できる範囲で対応している（①～③を除く）
⑤ 特に対応はしていない
⑥ その他（　　）

問２－３　受けた相談内容は、具体的にどのようなものですか。（〇は２つまで）

① 親の介護と子育てを同時にしている
② 高齢の親と働いていない子が同居している
③ ２０歳前後で就労できず、生活支援を必要としている
④ 障害の疑いがあるが、手帳の申請や病院の受診を拒否しているために制度の利用ができない
⑤ 暮らしている場所がごみ屋敷になっている
⑥ その他（　　）

問３　普段の業務の中で、通常関わる業務範囲以外の福祉課題を抱えた個人や世帯に気付いたり、発見したことがありますか。（◯は１つだけ）

① ある
② ない

問３で「①ある」とお答えの方におうかがいします。

問３－１　それはどのような場面ですか。（〇はいくつでも）

① 窓口等で相談を受けているとき
② 通常関わる業務範囲の対象者を支援しているとき
③ 対象者や内容を限定しない相談会などの事業を実施しているとき
④ 研修会など相談活動以外の事業を実施しているとき
⑤ その他（　　）

問３－２　個人や世帯が抱える福祉課題が通常関わる業務範囲以外の内容である場合、どのように対応していますか。（〇は２つまで）

① 福祉課題を抱えた個人等に市の担当部署や相談支援機関を伝え、担当部署等へ相談してもらうよう促している
② 福祉課題に合致する市の担当部署や相談支援機関に情報を伝えるなどの対応をしている
③ 特に対応していない
④ その他（　　）

問３－３　気付いたり発見した福祉課題は、具体的にどのようなものですか。（〇は２つまで）

① 親の介護と子育てを同時にしている
② 高齢の親と働いていない子が同居している
③ ２０歳前後で就労できず、生活支援を必要としている
④ 障害の疑いがあるが、手帳の申請や病院の受診を拒否しているために制度の利用ができない
⑤ 暮らしている場所がごみ屋敷になっている
⑥ その他（　　）

問４　相談者への支援にあたって、通常関わる業務範囲以外の市の担当部署や相談機関・施設と連携する必要があるときに、連絡や連携はスムーズに行われていると感じますか。（◯は１つだけ）

① 感じる
② 感じない
③ 連携する機会はない

問４で「②感じない」とお答えの方におうかがいします。

問４－１　その理由として最もあてはまるのは何ですか。（◯は１つだけ）

① 連携に必要な市の担当部署や相談支援機関・施設などが地域に少ない
② どのように（どこと）連携すればよいかわからない
③ その他（　　）

問４－１で「②どのように連携すればよいかわからない」とお答えの方におうかがいします。

問４－２　連携の方法がわからない理由として、最もあてはまるのは何ですか。（◯は１つだけ）

① 市の担当部署や相談支援機関・施設と日頃からの交流がないから
② 市の担当部署や相談支援機関・施設の業務に関する知識に乏しいため連絡しづらいから
③ 市の担当部署や相談支援機関・施設に連絡しても断られるから
④ その他（　　）

問５　「制度の狭間」や「複合的課題」といった福祉課題にも対応するため、周南市では福祉総合相談窓口として「もやいネットセンター」を設置しています。
「もやいネットセンター」の機能について、どのように評価されますか。
（◯は１つだけ）

①福祉課題に十分対応できている
②福祉課題に対応できている
③福祉課題にあまり対応できていない
④福祉課題に対応できていない
⑤わからない

問５で「③あまり対応できていない」「④対応できていない」とお答えの方におうかがいします。

問５－１課題に対応するために、「もやいネットセンター」に充実させるべき機能は何だと思いますか。（○は２つまで）

① 適切にコーディネートできる能力
② 様々な制度や分野に関する知識
③ 相談機関同士の顔が見える関係づくり
④ 相談機関の間で、支援の経過を確実にやりとりするための連絡票などの仕組みづくり
⑤ 既存の制度では対応できない課題を解決するための新たな制度づくり
⑥ その他（　　）

問６　今後、「もやいネットセンター」に期待することはありますか。自由にご記入ください。